

地熱開発と温泉について

平成23年 8月4日
社団法人 日本温泉協会

1

日本温泉協会の概要

会 員 温泉利用の宿泊施設・入浴施設など
温泉関連の地方自治体・団体・企業など

目 的 温泉についての調査研究、温泉知識の
普及、温泉資源の保護、など

2

温泉の三要素

水：温泉の主となる物質、熱の移動媒体

温度：地熱によって温められる

化学成分：温泉を特色づける重要な要素

3

地熱開発に抱く危惧

- ・ 周辺温泉源への影響
 - 湧出量の減少
 - 泉温の低下
 - 成分の変化
 - 温泉の枯渇
- ・ 周辺の環境破壊
- ・ 災害の誘発

4

国立公園内の地熱開発

- 昭和47年、環境庁と通産省で合意
着工ずみの、大沼、葛根田、松川、鬼首、大岳、八丁原の6カ所以外、国立・国定公園内での建設は認めない
- 平成22年6月18日 閣議決定
国立公園等の地表部に影響のない方法による事業計画であれば許可できる旨、新たに通知するための調査・検討に着手(傾斜掘削)

5

無秩序な地熱開発反対

- 周辺温泉の湧出量、温度、成分に影響するという前提に立つて行うことを要望
- 周辺温泉に影響を及ぼす恐れのある地域での無秩序な開発反対
- 影響を与えた温泉地に対しては救済を

6

温泉の二次的利用

既存の地熱発電所の還元井の二次エネルギー
利用や、廃湯(捨て湯)の余熱を利用したバイナ
リー発電には反対しない

7

温泉と地熱発電との共生

- 可能と思われる場合
現在、温泉が利用されていない地域において、地熱エネルギーとして水蒸気を利用後、熱水の一部を温泉として利用する場合。
- 不可能と思われる場合
温泉がある程度の湧出量で湧出しており、泉質を重視して利用している地域。

8

要望事項

長期のモニタリングの徹底

情報の公開

地域住民の意見の尊重

9

23年度会員総会で決議

温泉観光地の存続を脅かす無秩序な

地熱エネルギー開発に反対することを

23年度会員総会で決議

10